4

2007年(平成19年)6月21日(木曜日)

北海道新聞

万引を許さない

道内小売店4千店

「すべて警察に届けます」

道内の小売店の一割にあたる約四千店が加盟し、万引防止意識に取り組んでいる「北海道万引防止ウイープネットワーク」は二十日、札幌市内のホテルで総会を開き、今後、加盟店で起きた万引被害すべてを警察に届け出ることを宣言した。

小売店が被害を警察に届け出ないことが甘えを呼び、再犯につながっている現状があることから、被害すべてを届け出るよう加盟店の対応を統一し、万引撲滅を図る。

同ネットワーク会長の松長正三マックスバリュ北海道(札幌)社長は「各店舗が万引を発見届け出ることで、万引した本人はもとより、社会全体に万引は犯罪だと再認識を促す」と宣言し、道警の佐藤正幾生活安全部長に宣言文を手渡した。

道警も被害届の手続きの際に、警察官ができるだけ店に出向くなどして店側の負担軽減を図り、協力する。

朝日新聞

防止

全件届け出よう　道内の小売業者で組織する北海道万引防止ウイープネットワークが20日、「万引き全件届け出宣言」をし、松長正三会長が佐藤正幾道警生活安全部長に宣言書を手渡した。道内の万引発生件数は増えているが、被害に遭っても泣き寝入りする店が多いという。店が警察に届けることで「万引きはいけない」ということを社会にアピールできると考えた。松長会長は「地域の安心づくりに小売業としてもお役に立ちたい」と話していた。